

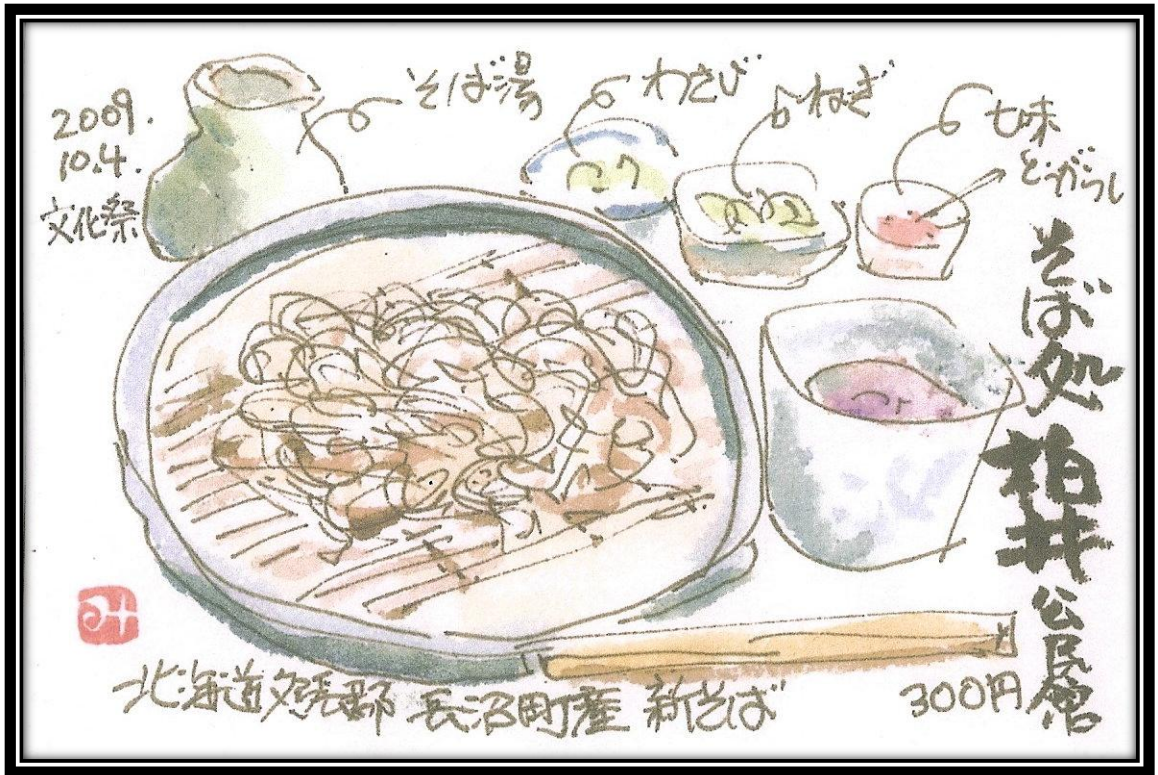
響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

特別号 No.20

2009年11月27日 発行



絵 百田 稔さん

行事のお知らせと報告

門徒さんの一言

小坊主の一言

今月の法語



今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

12 月

10日
(木)

- にもくかい
- ・ 二木会
 - ・ 12時～

年
末
年
始
の
行
事
の
お
知
ら
せ

☆12月の二木会は、報恩講に向けて、仏具をきれいにする「おみがき」をします！皆でピカピカにしましょう♪
「おみがき」した後は、うどんを振る舞う予定です。

28日
(月)

- ・ 報 恩 講 ほうおんこう
 - ・ 14時～
 - ・ 講師：高木 孝雄 師
- 名古屋教区 第23組 念佛寺 御住職

☆報恩講の後、18時頃から忘年会を兼ねて、懇親会を催します。是非ご参加下さい♪

処：樂山(四川料理) 北国分駅近く

参加希望の方は12月10日までにお知らせ願います。詳しくはお寺にお問い合わせ下さい。

1 月

7日
(木)

- しゅしょうえ
- ・ 修正会
 - ・ 14時～

『正信偈』を皆でお勤めした後、住職から年始の挨拶、簡単な法話があります。

14日
(木)

- にもくかい
- ・ 二木会
 - ・ 14時～

28日
(木)

- ・ 書道教室 写経
- ・ 15時～ 青山 美智子 師
- ・ 同朋会 どうほうかい
- ・ 17時～ 未定

上記の行事はすべて会費
ありません。



「二木会」は門徒さんの親睦を深める楽しい会です。初めての方でもお気軽に♪

「同朋会」は『正信偈』を皆でお勤めした後、真宗の教えに遇う大切な場です。

電車を御利用の方は、市川大野駅まで車で送迎致しますので、お寺に電話御願い致します。

TEL 047-3337-5305

行事の報告

11月

12日(木)

「三木会」
にもくかい

参加者

※ホームページでは

公表しません。

九名参加

市川市動植物園にて、
紅葉狩りを楽しんでまい
りました。



木枯らしの風も吹き飛
ばし、ハイキング気分で秋の
自然の気配を感じてきま
した。

みんなで写真撮影!

もみじきれいでしたよ♪



26日(木)

「書道教室」「写経」
「同朋会」 どうほうかい

書道教室 参加者

※ホームページでは

公表しません。

八名参加

同朋会 参加者

※ホームページでは

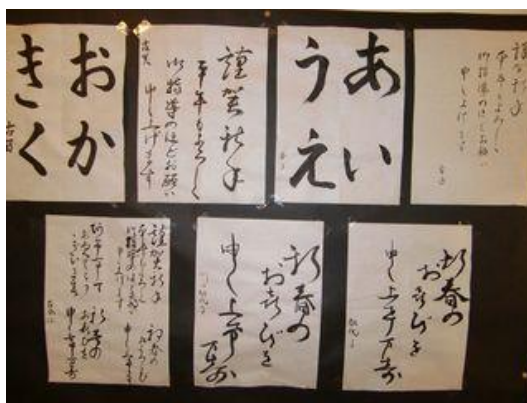
公表しません。

十八名参加

講師 生実修



集中して写経してます！



書道みんな上手く書けたかな？

↓今年最後の同朋会です。
『歎異抄』を読み、私たちが
普段称えている念仏に対し
て、私たち自身はどう受け
取っているかをお話されまし
た。座談では皆さんの疑問に
も丁寧に答えてくれました。



門徒さんの一言

多田 彰

青山さん御夫婦にお世話になり、道誠寺様を御紹介頂き誠に有り難う御座いました。

初めての事なので緊張しておりましたが、住職、副住職にお会いになり、気さくで明るく話し下さいます。その日のうちから、おつとめ、書道教室、写経、講師のお言葉、多彩な催しを受けさせて頂き、また二木

会、同朋会に出席させて頂き、門徒の皆さんのお話を聞き、趣味の広いことに敬服いたしました。新米門徒の一員として、住職から頂きました勤行集、『歎異抄』などで勉強し、皆様方に一步でも近付きたいと思えます。宜しくお願い致します。

「門徒さんの一言」

随時募集中

あなたの思いを

誌面に載せます。

今月の法語

おんどくさん
恩徳讃

によらいだいひ
如来大悲の

おんどく
恩徳は

み
身を粉にしても

ほう
報ずべし

ししゆちしき
師主知識の

おんどく
恩徳も

ほねをくだきても

しゃ
謝すべし

知っ得!

真宗仏事作法

Vol. 8

しゅしやうえ

修正会は、一般的に一月

一日の元旦から一月三日に

行う正月の法要です。

修正とは、過ちをあらた

め、正しきを修めるというこ

とを意味します。したがっ

て、年のはじめに身を正し、

思いを新たにして、念仏をと

なえることが生活の原点で

あることを確かめるための法

要です。

修正会は宗派を問わず行

われている行事です。

お荘厳(かざりつけ)について

大晦日のうちに済ませます。

お内仏を掃除した後、「鏡餅」
をお供えし、打敷(三角の織物)

を上卓と前卓にかけます。華瓶

には新しい櫛をさします。餅の上

には葉つきの橙、ミカン、金柑な

どを載せます。

御懇志

※ホームページでは

公表しません。

敬称略

どうもありがとうございます

ございました。

※道誠寺の修正会は、一月

七日木曜日に行います。

『正信偈』を皆でお勤めし

ます。

小坊主の一言

「報恩講」

先月の『響』『知っ得！真宗仏事作法』で報恩講を特集しました。また、当寺におきまして、十二月二十八日に報恩講を勤修致しますので、報恩講について少し語ってみたいと思います。

大学在学中に、あるお寺の報恩講の場で報恩講についてお話をしたことがあります。（当時も今と変わりませんが、法話になっておりま

せんが……泣）

その時の話は

「……『報』という字は、「むくーいる」の他に「ほうーじる」という意味があります。ですから、報恩講は、宗祖親鸞聖人の御恩に「報いる」場なのです。そして多くの人たち「報じる」、つまり多くの人たち「親鸞聖人の教えに出遇って頂く場でもあるのです……」と、報恩講について大まかに説明しているような内容でした。

真宗行事の中で最も大事であって、親鸞聖人の御恩に報いることが報恩講であると言います。しかし親鸞聖人の御恩に「むくーいる」ということに焦点をあてますと、正直に、僕は真宗の教えをよりどころとしていないので、親鸞聖人に対して御恩が湧きあがってこないのです。こんなことを言ったら、御門徒の皆様は怒られてしまいますが、僕はお寺に生まれ、真宗の教えを広める立場

である副住職の身でありながらも、真宗の教えをよりどころに、真宗の教え一筋に生きていないものですから、僕にとって報恩講がただの親鸞聖人の年回法要になってしまふのです。

しかし、僕のような不届き者もいれば、僕とは相對して真宗の教えをよりどころに、親鸞聖人の御恩に報いようとする方もいます。または、報恩講に参加する友達をめぐって、報恩講に出される

お茶、お菓子をめあてに、…様々な思いを持って集まった方たちの寄り合いが「講」なのです。

こういったことを考えますと、「むくーいる」場というより、集まった多くの人たちに真宗の教えを「ほうーじる」ことが報恩講であると感じました。ですから、皆さん、親鸞聖人に御恩を感じてない方でも、どなたでも、お気軽に報恩講にお参りにいらっしやっして下さい。

(釋光生)

◆敬弔

※ホームページでは

公表しません。

生前のご功勞を偲び、念仏合掌して哀悼の意を表します。

☆編集後記☆

◆「同朋会」に御出席頂いている皆様には残念なお知らせではありませんが、来年の「同朋会」で講師が変更になります。生実修先生には、道誠寺の「同朋会」がスタートしてから丸四年もの間、講師を勤めていただきました。大変深く感謝しております。どうもありがとうございます。

◆「門徒さんの一言」は、「写経」「同朋会」によく来て下さる多田彰さんに執筆して頂きました。

◆「親鸞聖人に人生を学ぶ講座」のお知らせ（千葉県西北部）

第三回「出遇いのよろこび・法然上人との出遇い」

日時 十二月十二日

第四回「法難・法難と流罪」

日時 一月十六日（※）

いずれも土曜日の午後二時半に柏市の浄真寺にて開かれます。

◆「東京教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌お待ち受け大会」のお知らせ

日時 一月二十四日（日）

～一月二十八日（木）

処 真宗会館（※）

※詳しくはお寺にお問い合わせ願います。

◆今月の『響』は今年最後です。次回の『響』は年明け一月末に発行予定です。

誠に申し訳ありませんが副住職の都合上、来年からこの『響』は二カ月に一度の発行に変更になります。御理解のほどよろしくお願い致します。

編集発行人

T2720804

千葉県市川市南大野1-26-31

道誠寺 釋光生

URL <http://douzyouzi.com>

電話 047(3337)5305

FAX 047(3337)5306